

## 平成30年度 コレクション展示作品目録

### 展示室4 ジョゼフ・アルバーズ

2018年10月16日(土)－12月17日(月)

ジョゼフ・アルバーズはドイツに生まれ、ベルリンやミュンヘンの美術学校の後、バウハウスに学び、やがて同校で教師を務めます。1933年、ナチスによってバウハウスが閉鎖されると、アメリカに移り、画家、教育者、デザイナーとして活躍し、39年にアメリカの市民権を取得しました。アルバーズは抽象形体と色彩による構成が人間の感覚にどのように訴えるかを研究して、自身の作品で実践し、同国の若い作家たちに大きな影響を与えました。

この展示では、それまでのアルバーズの作品を版画として集大成し、1972年に刊行された版画集『形成・接続』の第1巻、第2巻(全66点)から18点をご紹介します。

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
	ジョゼフ・アルバーズ (1888-1976)	『形成・接続』 第1巻(全33点) 第2巻(全33点)より	1972年	シルクスクリーン・紙	38.0×101.7 (ペーパーサイズ)
1		I - 32 図形構造 序唱			
2		II - 1 階段			
3		II - 2 水槽			
4		II - 3 見ること			
5		II - 11 あずまや			
6		I - 24 束ねる(左) 工場(右)			
7		I - 30 変化形(朝、永遠)			
8		II - 18 変化形			
9		I - 11 変化形			
<b>正方形讃歌</b>					
10		I - 5 正方形讃歌			
12		I - 20 正方形讃歌			
11		II - 4 正方形讃歌			
13		II - 5 正方形讃歌			
14		II - 13 正方形讃歌			
15		II - 14 正方形讃歌			
16		II - 24 正方形讃歌			
17		II - 27 正方形讃歌			
18		II - 28 正方形讃歌			

# 群馬県立近代美術館